

外国人患者の受入れに係る病院向け調査の結果について
(平成 27～令和 2 年度対象)

○ 回収状況

回収状況	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
回答病院数 (機関)	201	187	235	201	178	112
回収率 (%)	62.4	57.9	72.5	72.8	71.2	51.4

- ① これまで病院数・患者数ともに増加してきていたが、**令和 2 年度は新型コロナウイルスの世界的な蔓延の影響を大きく受けた。**

受入れ数	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
病院数 (機関)	14	15	25	30	31	16
患者数 (人)	224	244	346	589	1,099	176

- ② 「健診・検診分野」・「治療分野」とともに減少しているものの、中国やアジア各国からの患者の割合が多い。

《健診・検診分野》

(人)

国名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
中国	68	114	97	200	401	8
ベトナム	0	8	2	1	119	7
インドネシア	0	0	0	4	38	0
ネパール	0	0	0	0	32	0
カンボジア	0	0	0	0	16	0
フィリピン	1	0	0	0	12	0
タイ	0	0	0	0	11	0
モンゴル	0	0	0	0	3	3
バングラデシュ	0	0	0	0	2	0
ブラジル	0	0	8	0	0	0
韓国	2	0	0	0	0	0
アメリカ	1	0	0	0	0	0
小 計	72	122	107	205	634	18

《治療分野》

(人)

国名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
中 国	119	116	206	348	412	112
ベトナム	0	3	12	11	8	10
アメリカ	3	0	1	3	7	0
フィリピン	3	0	0	1	7	1
タイ	0	0	0	2	6	0
ブラジル	2	0	8	1	5	1
インドネシア	0	0	1	9	4	2
モンゴル	3	1	0	0	4	1
韓国	0	0	0	1	2	0
香港	0	0	0	0	2	0
インド	0	0	0	1	1	4
フランス	0	0	1	0	1	0
ベルギー	0	0	0	0	1	0
オランダ	0	0	0	0	1	0
オーストリア	0	0	0	0	1	11
ドバイ	0	0	0	0	1	0
シリア	0	0	0	0	1	0
オーストラリア	0	0	0	0	1	1
その他	22	2	10	7	0	15
小 計	152	122	239	384	465	158

- ③ 価格設定は、診療報酬単価と「同じ又はそれ以下」が最も多い点は、変化がない。

(機関)

価格設定	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
診療報酬単価の						
同じ又はそれ以下	7	5	12	16	20	8
1.1 倍以上 1.5 倍未満	2	2	1	1	0	0
1.5 倍以上 2 倍未満	2	2	3	2	1	0
2 倍以上 2.5 倍未満	2	4	4	7	7	4
(同じ以上)2.5 倍未満	-	-	1	-	-	-
2.5 倍以上 3 倍未満	0	0	0	0	0	0
3 倍以上	1	2	3	4	3	2
小 計	14	15	24	30	31	14

- ④ 診療分野・診療科は、「健診・検診」及び「概ね全分野」が多く、増加傾向
 となっている。＜複数回答＞

(機関)

診療分野・診療科	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
健診・検診	5	7	11	15	14	15
概ね全分野	5	5	10	11	13	15
整形外科	0	2	1	2	1	1
放射(陽子)線治療 (外科)	1	1	2	1	1	1
脳神経外科	1	2	1	1	1	1
分娩(産科)	0	0	1	1	1	0
リハビリテーション 科	0	0	0	1	1	0
口腔外科	0	0	0	1	1	1
消化器外科	0	0	0	1	1	0
婦人科	0	0	0	1	1	0
小児科	0	0	0	1	1	0
腎臓内科	2	1	0	0	1	1
精神科	0	0	0	0	1	1
内科	0	0	0	0	1	2
循環器(内)科	1	4	1	2	0	1
消化器(内)科	1	4	1	1	0	1
心臓(血)管外科	2	3	1	1	0	0
歯科	1	1	0	1	0	0
形成外科	0	0	0	1	0	0
眼科	0	0	0	1	0	0
泌尿器科	0	0	2	0	0	0
透析内科	0	0	1	0	0	0
肝臓内科	0	0	1	0	0	0
免疫細胞治療	0	0	1	0	0	0
がん治療	2	1	0	0	0	0
血管外科	2	1	0	0	0	0
ペインクリニック	0	1	0	0	0	0
その他	0	2	0	0	0	1
小計	23	35	34	43	39	41

⑤ 体制整備については、

機関の数で見ると、「医療通訳を院外から必要に応じて手配」、「契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応」、「国際医療コーディネーターとの連携」が多い。

<複数回答>

(機関)

受入れに向けた体制整備	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
外国人患者受入窓口（国際診療科等の専門部署・スタッフ）の設置	5 (36%)	4 (27%)	5 (20%)	4 (13%)	4 (13%)	2 (5.4%)
多言語に対応した院内表示	6 (43%)	8 (53%)	8 (32%)	9 (30%)	8 (26%)	5 (13.5%)
医療通訳を院内のスタッフとして配置	4 (29%)	4 (27%)	4 (16%)	4 (13%)	6 (19%)	4 (10.8%)
医療通訳を院外から必要に応じて手配	9 (64%)	10 (67%)	13 (52%)	12 (40%)	11 (35%)	5 (13.5%)
多言語に対応した医療従事者（医師・看護師など）の配置	2 (14%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)	7 (23%)	2 (5.4%)
外国人患者受入れに対応した診療施設、入院施設の設置	2 (14%)	3 (20%)	2 (8%)	3 (10%)	3 (10%)	2 (5.4%)
契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応	5 (36%)	9 (60%)	8 (32%)	9 (30%)	11 (35%)	6 (16.2%)
情報発信・プロモーション活動	5 (36%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)	3 (10%)	2 (5.5%)
国際医療コーディネーターとの連携	4 (29%)	6 (40%)	12 (48%)	11 (37%)	12 (39%)	5 (13.5%)
国際医療コーディネーター以外の機関（国内外の医療機関、自治体、旅行会社など）との連携	7 (50%)	5 (33%)	5 (20%)	8 (27%)	4 (13%)	2 (5.4%)
その他	1 (7%)	1 (7%)	2 (8%)	2 (7%)	3 (10%)	1 (2.7%)
小計	50	58	65	76	72	36

※（ ）は、各年度の受入れ病院数に対する割合

- ⑥ 提供する業務（サービス）については、
 機関の数で見ると、「患者情報の入手」、「必要書類の翻訳」、「支払い手続き」、
 「医療通訳・医療結果翻訳」が多い。＜複数回答＞

(機関)

提供する業務（サービス）		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
事前	患者情報の入手	6 (43%)	17 (68%)	17 (68%)	20 (67%)	17 (55%)	8 (57.1%)
	同意書の締結	5 (36%)	18 (72%)	18 (72%)	22 (73%)	16 (52%)	7 (50.0%)
	ビザの手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	7 (23%)	10 (32%)	6 (42.8%)
	必要書類の翻訳	6 (43%)	13 (52%)	13 (52%)	23 (77%)	15 (48%)	8 (57.1%)
	来日搬送の手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	6 (20%)	9 (29%)	6 (42.8%)
	航空券・宿泊施設の 予約	5 (36%)	4 (16%)	4 (16%)	4 (13%)	7 (23%)	4 (28.5%)
滞在	空港・医療機関・宿 泊施設の送迎同行	4 (29%)	6 (24%)	6 (24%)	7 (23%)	10 (32%)	6 (42.8%)
	医療通訳・医療結果 翻訳	9 (64%)	20 (80%)	20 (80%)	22 (73%)	17 (55%)	9 (64.2%)
	院内での特別食の 提供	4 (29%)	10 (40%)	10 (40%)	17 (57%)	14 (45%)	5 (35.7%)
	支払い手続き	6 (43%)	15 (60%)	15 (60%)	19 (63%)	18 (58%)	9 (42.8%)
	生活面・観光での支 援	4 (29%)	3 (12%)	3 (12%)	6 (20%)	7 (23%)	6 (42.8%)
帰国	アフターケアの支 援・再診の調整	5 (36%)	7 (28%)	7 (28%)	9 (30%)	13 (42%)	6 (42.8%)
小 計		64	123	123	162	153	80

※（ ）は、各年度の受入れ病院数に対する割合